

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

自分を大切に、そして周りも大切に

6月1日の「いのちを見つめる日」に、私が児童に話をした主な内容は次のとおりです。

一人一人がキラキラ輝いて生活や学習ができるように。

一人で生きているわけではない。周りを意識し、周りの人やものなども大切に。

- ① 相手を意識し、心のかよったあいさつをする。
- ② 車を意識し、交通安全に気をつける。
- ③ 次に使う人を意識し、トイレのスリッパをそろえる。自分のくつやシューズもそろえる。
- ④ 人が嫌がることを言わない。
- ⑤ 人や動物などをたたいたり、蹴ったりするなど暴力をふるわない。

※ 自分も大切に、周りの人も大切に、植物や動物なども大切に、地球環境も大切に。

今後も、自らを大切にすると同時に、周りを意識し、周りも大切に作る児童に育てていきたいと考えています。

6月15日（金）から25日（月）は学校開放週間です。多数のご来校をお待ちしています。



祇園歴史の旅（その9）「校章制定の由来（後編）」

校長室にある額の記載内容をもとに、3回に渡り校章制定の由来をご紹介します。五個の佐世保独楽は、東洋思想における五行説に由来し、①木（青）は繁るように育つ、②火（赤）は情熱を持つ、③土（貴）は豊穡な心で、④金（白）は鉄は熱いうちに打て⑤水（黒）は清らかに、との願いが込められています。ヨマ（独楽を回すひも）は、独楽を起動し継続させる物として子どもを育て見守る親・地域・学校を表しています。校名のロゴ全体の印象は、子どもたちを優しく包み込む感じが表現されています。

校区・OB・関係者からの10通の公募を基に、当時の光園小・戸尾小のPTA会長、光園小・戸尾小の校長が発案、デザインを長田純治氏（デザイン事務所R2）に依頼して完成しました。

※改めて、上の校章をじっくりとご覧ください。